

なかの里・まち体験交流事業

会津・喜多方の安全・安心な食材と
人情にふれあう2日間の記録

～福島県 喜多方市～

平成25年11月5日（火）～6日（水）



今回の体験交流事業の主旨

- 東日本大震災以降の風評被害により、出荷量が減少した、喜多方の農産物の安全性について、中野区の皆さんにご理解いただくことを目的として、喜多方市が企画し実施されました。
- 参加者は、中野区町会連合会から選抜された、町会・自治会の代表者（役員）と区民活動センター運営委員会事務局の方々、総勢33名



スケジュール

- 7時半の定刻前に全員集合
- 中野四季の都市を一周し、グリーンツーリズムの里へ
- バスは一路、喜多方を目指します！

11月5日（火）	11月6日（水）
○区役所出発	○リンゴ収穫（熊倉地区）
○喜多方『おぐにの郷』昼食	○熊野神社と長床見学
○J A会津いいで 「米の全量検査視察」	○喜多方蔵のまち散策 （ガイド付き）
○ほまれ酒造見学	○喜多方ラーメンの昼食
○道の駅・喜多の郷併設 『蔵の湯』で入浴	○帰京
○農家民泊	



車内では

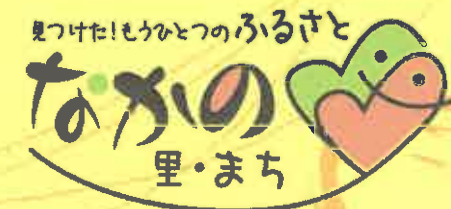
- ビデオにより、喜多方の自然や農業、農家民泊の事前学習しました。



紅葉が映える日本晴れの中、バスは順調に喜多方を目指します！



中野区町会連合会・佐藤副会長から、皆さんへご挨拶



おぐにの郷（昼食）

- 旧熊倉小学校雄国分校を改修して、交流施設として利用しています。地域の伝統文化（根曲がり竹細工）、食文化（雄国そば）等の発信基地として活用されています。
- 地元産の新そばで地域の方がそばを打ち、ふるまっていたいただきました。



おいしいそばに舌鼓



コシが強く香りのよい「新そば」



- 本日のそばを打っていただいた、武藤さんからご挨拶をいただきました。



根曲がり竹細工を説明される武藤さん



地域のみなさんの、お見送りをいただきました。



J A会津いいで 「米の全量・食品検査場視察」



- 平成24年から約86万袋の検査を実施。
- 安全基準を上回る放射線量は検知されていない。

- J A 喜多方市熊倉低温農業倉庫で、放射能全量検査を視察



放射線残量測定装置



検査前の米袋

検査するお米は、
装置内をベルトコ
ンベアで流れなが
ら検査されます。

検査後の米袋

安全への取組を説明される、グリーン
ツーリズムサポートセンター
渡部事務長



基準を上回ると、
ランプと画面で
知らせます。



検査を体験する
佐藤会長（本六町会）

- 1袋30kgのお米は、バキューム装置で吸付け、測定装置のベルトコンベアに載せられます。



喜多方市役所からの説明



観光交流課・真田課長

- 観光交流課・真田課長様より、歓迎のご挨拶をいただきました。
- 農林課・大堀課長補佐様より、農産品についてご説明いただきました。
- 生活環境課・遠藤室長様より、東日本大震災以降の放射線の影響と対応について、ご説明をいただきました。



農林課・大堀課長補佐



生活環境課 原発事故対策室
遠藤室長

酒造見学 (ほまれ酒造)



- 日本酒の仕込みタンクや瓶詰過程を見学し、日本庭園に面した試飲会場で、会津のお酒を試されました。

2日目

お世話になった喜多方の皆さんと共に



- 各農家で喜多方の夜を満喫された皆さんは、喜多方にあたらしい友ができたようだと語られていました。



宿泊先のお孫さんと
離れがたい参加者

リンゴ狩り



- リンゴ園の酒井さんに、もぎ採り方を教わり早速収穫です。
- 次の日は幼稚園児さん達への、リンゴ狩りがあるため、なるべく高い枝から収穫です。



- 試食タイムは、婦人部のみなさんに、お手伝いいただきました。
- 一人3個のお土産のほか、家族などへ大量の発送を頼まれる方もいました。



蜜の入ったリンゴ。この日は、気温が低かったため、冷えていてすこぶる美味



新宮熊野神社・長床

大鳥居と注連縄



直径8メートルの
大イチョウ



- 長床に腰かけ
ガイドさんの
説明いただきました。



長床の内部

蔵のまち散策

- 市内散策では、2班に分かれ、観光コンシェルジュのボランティアガイドさんの案内で、蔵のまちを散策しました。



蔵の生活を見学



蔵の生活展示館

散策と昼食

- レトロな町並みを散策した後は、各農家さんから収集した情報によりお店を厳選し、喜多方ラーメンを堪能されました。
- 参加された皆さん一人ひとりのご自宅には、喜多方の野菜が贈られました。



参加者感想 (抜粋)

- 放射能検査での安全性がよく理解できた。中野区内でも農産品が買えるようにしてほしい。
- 昨晩は夜中までカラオケで盛り上がった。
- 朝から山の上でとれる二枚貝を採りに連れて行っていただいた。
- 築160年の農家に泊まり、歴史を感じ、里の話を伺い感動した。
- こんなに、もてなされ恐縮した。
- 喜多方に友達ができてうれしい。

編集後記 (文責・同行担当者)

- 農産品の現状を伺い、中野区民がどのように向き合えば良いのか、真摯に向合う姿勢を感じさせていただきました。
- 農家民泊について、未体験の方がほとんどであり、若干の不安があるのではと、危惧しましたが、一夜明けて集合した時の皆さんのにこやかな顔が、体験事業の成功を感じさせていただきました。
- 各町会や地域での事業に活かされると、感じさせていただきました。
- 喜多方市の皆さんと農協観光の細やかな心配りや細心の準備。参加された皆さんに感謝。